ESG Solution Showcase

Acronis Access Connect:MacおよびモバイルデバイスによるWindowsファイルサーバーへの接続を簡素化

日付: 2015年5月 **著者:** Terri McClure、シニアアナリスト

要約: Acronis Access Connect 10がリリースされました。これは現在、世界中の8,000を超す企業で使用されているExtremeZ-IPの名称を変更して進化させた製品です。Acronis Access Connectは、非互換性、クライアント接続の問題、データ破損、Network Spotlight検索等の一般的なMac OS機能の欠如など、Macが標準的なWindowsファイル共有を使用する際に発生する問題を軽減しながら、Windowsサーバーやネットワーク接続ストレージ(NAS)上のファイルにMacがアクセスできるようにすることによって、大企業におけるMacに対するITサポートを簡素化します。Acronis Access Connectでは、同じファイル共有へのモバイルデバイスによるアクセスもサポートするようになりました。BYODポリシーが普及していくことを考えると、従業員たちが各種デバイスを仕事で使用できるようにIT部門に求めることによって、IT部門がMacを受け入れ、モバイルによるワークフローを可能にすることがより重要になります。Acronis Access Connectのような製品によって、IT部門によるシームレスな取り組みが可能になります。

概要

アクロニスは、おもにデータ保護企業として知られており、30万を超える企業で5百万を超えるユーザーが同社の製品を使用しています。最近では事業ポートフォリオを拡大し、場所に関係なく、ITによるデータの管理および保護を支援する製品を提供しています。新しいポートフォリオの注目製品の1つがExtremeZ-IPであり、現在はAcronis Access Connectと名前を変えました。

Acronis Access Connectは、基本的にはMacとWindowsサーバー間の変換レイヤーとして機能し、これによってユーザーは、Windowsファイル共有やネットワーク接続ストレージ(NAS)に簡単にアクセスできます。ユーザーは、Time MachineバックアップやNetwork Spotlightによる高速の全文検索など、Mac由来のApple Filing Protocol(AFP)を使用することの利点のすべてをそのまま使用できます。IT部門は、Macユーザーのためにファイル共有のセットを個別に用意する必要はありません。Acronis Access Connectは、メタデータ処理、ファイル命名規則、ファイル互換性、および異なるMac OSバージョンのサポートの点で、MacコンピュータとWindowsコンピュータの相違点を仲介する重要な作業すべてに対応します。Macユーザーには、分散ファイルシステム(DFS)名前空間の表示や、シングルサインオン(SSO)の利用を実現する機能も提供されます。

最新のリリース(バージョン10)で追加されたコンポーネントは、モバイルデバイスのサポートです。一般的なナレッジワーカーが3台のモバイルデバイス(ラップトップまたはデスクトップ、電話、およびタブレット)を仕事に使用していることを考えると、モバイルコンポーネントはパズルの重要なピースの1つです。Acronis Access Connectを使用すると、ユーザーはモバイルデバイスによるファイルの表示やアクセスが可能になり、Windowsサーバーに付与されているすべてのアクセス許可が維持されます。

このESG Solution Showcaseは、アクロニスによって委託されたものであり、ESGからのライセンスの下で配布されます。
© 2015 by The Enterprise Strategy Group, Inc. All Rights Reserved.

ファイルの互換性に関する問題

MacとWindowsのサーバーでは、異なるファイル共有プロトコルが使用されています。ファイルサーバーへの接続に、WindowsではServer Message BlockおよびCommon Internet File System（SMB/CIFS）が使用されていますが、Macでは長い間Apple Filing Protocol（AFP）が使用されてきました。基本的に、ファイルへアクセスするために別々の言語が存在するということになります。[1]最近になって、AppleはMac OSにSMB/CIFSに対するサポートの組み込みを導入しました。しかし、ファイル処理、ファイルの命名、およびメタデータの処理方法がMacとWindowsとで異なることを考えると、非互換性、クライアント接続の問題、そしてデータ破損のリスクが依然として存在します。さらに、Mac OSはリリースによってSMB/CIFS接続の処理方法に違いがあるため、複数のバージョンのMac OSをサポートする必要があることが環境における課題となっています。また、Network Spotlight検索やTime Machineバックアップなどの一般的なMac OSの機能は、Mac OSのSMB/CIFSクライアント経由で接続した場合はサポートされません。

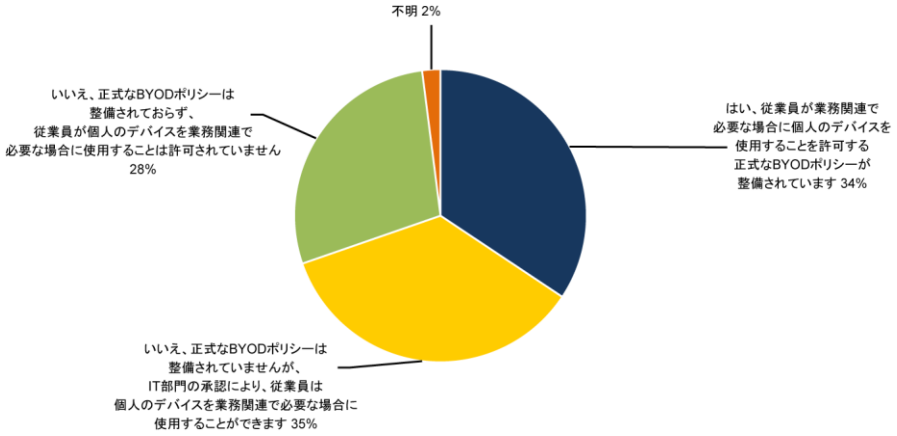
このような互換性の問題は、IT担当者の頭痛の種になることがあります。ファイルの紛失や破損が原因でヘルプデスクへ問い合わせが増えることによってMacをサポートするコストが増加し、極端な場合は、IT担当者はMacユーザーのサポートのためにファイルリソースを複製しなければなりません。Macユーザーにとっては、SMB/CIFSを使用することで、ファイルの紛失や破損に加え、ファイルの表示や検索の遅さが原因で従業員の生産性に影響する可能性があります。

市場への影響

BYODの増加により、IT部門に課題が生じています。どこでも、いつでも、どのデバイスからも仕事ができることを求める従業員が増え続けており、IT部門では、従業員が使用したいさまざまなデバイスをサポートする必要に迫られています。ESGによる北米と西欧の中規模企業（従業員100～999人）と大企業（従業員1,000人以上）のIT部門上層部の意思決定者601人を対象とした最近の研究調査によると、調査した企業の3分の2以上で、主要な職務遂行のために会社支給でないデバイスを従業員が使用することを、程度の差はあれ、許可していることが判明しました。[2]

図1.大企業のBYODポリシー

あなたの会社では、従業員が自身の職務遂行にあたって、会社支給ではない（個人の）エンドポイントデバイス（ラップトップ、スマートフォン、タブレットなど）を使用することを許可する正式なBYODポリシーは整備されていますか。（回答者のパーセンテージ、N=601）



出典: Enterprise Strategy Group, 2015.

[1] SMBは、Microsoft OSの最近のリリースで使用されるプロトコルで、何年か前にCIFSから置き換わりました。CIFSという用語は、いまだにIT専門家によってWindowsのファイル共有プロトコルを説明するために頻繁に使用されます（SMBが使用される場合でも）。
[2] 出典: ESG Research Report, *2015 IT Spending Intentions Survey*, February 2015.

© 2015 by The Enterprise Strategy Group, Inc. All Rights Reserved.

「デジタル時代に誕生した」企業は、BYODを許可しやすい傾向にあります。実に87%が個人のデバイスによる主要な職務遂行を許可しており、それらの企業ではデバイスのサポートについて、より大きな課題に直面しています。[3] 具体的に大企業におけるMacとWindowsの使用について見ると、ESGの調査では、MacとWindowsバイスの両方を正式にサポートするITショップが増え続けていることを示しています。実際のところ、IT組織のほぼ3分の2がWindowsとMacのデスクトップとラップトップを正式にサポートしています。[4]これにより、デバイスサポートの混在が増加してITサポート担当者に混乱が生じ、IT組織は混在環境をサポートする苦労を軽減できるソリューションを探し求めます。Acronis Access Connectのおもな利点がまさにこれです。Acronis Access Connectにより、以下が実現します。

- IT担当者は、ファイル破損のリスクを減らしながら、Windows環境でMacユーザーをサポートできます。
- Acronis Access ConnectがAFPへのファイルアクセス、検索などの変換に関連する微妙な差異に対応することで、Macユーザーはネイティブ AFPのエクスペリエンスを取得できます。
- モバイルユーザーにも、MacやPCからログインする場合と同じアクセス権限を用いてモバイルデバイスから企業のファイルにアクセスできるという利点があります。

Acronis Access Connectは、MacおよびモバイルデバイスのシームレスなAccess Advancedの統合を支援します。ただし、アクロニスのモバイルファイルアクセス製品はこれだけではありません。アクロニスが提供するAcronis Access Advancedには、ユーザーおよびデータ管理ポリシー設定、SharePointファイルアクセスAccess Connectは、Webブラウザクライアントおよび Mac/PC同期クライアントアクセス、および完全なエンタープライズファイル同期・共有（EFSS）機能一式が含まれます。Acronis Access Connectは、モバイルファイルアクセス向けのスタンドアロンとして動作し、またAcronis Access Advancedと併用すると、社内および社外のコラボレーション、自動コンテンツ配信、そして「Open In」、ファイルコンテンツのコピー/貼り付けによる他のアプリケーションへのデータ漏えいを制限するDLP機能および他のDLPタイプの機能などの、より洗練されたモバイルファイル管理を実現できます。

重要ポイント

アクロニスでは、データのアクセスと共有を保護しながら、MacからWindows PCとラップトップまで、そしてiPadからAndroidスマートフォンにいたる多数のデバイスを大企業でサポートするための要件を明確に理解しています。Acronis Access Connectは、Acronis Accessポートフォリオの注目製品であり、大企業でMacをサポートするための簡単な方法を提供します。大企業においてあらゆる種類とサイズのモバイルデバイスが増加し、従業員がBYODを要求する状況では、モバイルファイルアクセスが追加されるのは歓迎すべきことです。

Acronis Access Connectを使用することで、IT組織は、Macユーザー向けの新人研修プロセスの効率化、使いやすいMacおよびモバイル・ファイルアクセスツールによる従業員の満足度の向上、Mac経由でWindows共有にアクセスする際のデータ破損やファイル紛失に関する問題の解消による従業員の生産性の向上、およびファイルアクセスの問題に関連するヘルプデスクへの問い合せの削減を実現できます。

モバイルファイル管理は多数の競合他社がひしめく競争の激しい市場ですが、Acronis Access製品群という強力な手段を用いることによって、企業は、どのデバイスでも、どこでも、いつでも従業員の作業効率向上につながる企業モビリティの目的を実現できます。

[3] 出典: Ibid
[4] 出典: ESG Research Report, *The Endpoint Security Paradox*, January 2015

© 2015 by The Enterprise Strategy Group, Inc. All Rights Reserved.

すべての商標名は、それぞれの企業の財産です。本出版物に含まれる情報は、The Enterprise Strategy Group（ESG）が信頼できるとみなす出典から取得されたものですが、その情報はESGによって保証されるものではありません。本出版物には、ESGの見解が含まれる可能性があり、それは変更する場合があります。本出版物の著作権は、The Enterprise Strategy Group, Inc.に帰属します。本出版物の全体または一部を、ハードコピーまたは電子形式を問わず、また受け取りを許可されていない人物に、The Enterprise Strategy Group, Inc.の明白な承諾なしに複製または再配布することは、アメリカ著作権法に違反し、民事損害賠償、または該当する場合は刑事訴追の対象となります。ご質問がある方は、ESG Client Relations（508.482.0188）までお問い合わせください。

Enterprise Strategy Groupは、ITリサーチ、分析、戦略を世界規模で展開する統合企業であり、
世界中のITコミュニティに対し、実用的なインサイトと情報を提供しています。

© 2015 by The Enterprise Strategy Group, Inc. All Rights Reserved.

www.esg-global.com contact@esg-global.com P. 508.482.0188

© 2015 by The Enterprise Strategy Group, Inc. All Rights Reserved.